

(仮称) 東和小学校の校章について

原案（応募作品）	最終デザイン（補作後）
作成者 及川 悠太 様	補作者 豊里小・中学校 宮崎 敏明 教頭
	

補作のポイント

- 「東」と「和」のレタリングについて、始筆と終筆の統一を図った。
- 「東和」のデザインについて、作成者の意図を優先した上で、「小」のデザインとのバランスを補正したり、パーツを独立させたりした。
- 地の部分の白色角丸デザインがなくとも、「桜の花びら」並びに「星」のイメージが保持されるよう角を丸めた。

校章の説明文

この校章は、5つの「小」の文字で「東和」を囲ったデザインです。

東和小学校が、米川、旧鱒淵、米谷、錦織、旧嵯峨立の5つの小学校が1つになった学校であることを、シンプルに真っ直ぐに表現しています。

「小」で囲われた形状は、新たな学び舎で育つ子どもたちの入学の季節、春の「桜の花びら」であり、また、一人ひとりの子どもたちが輝く「星」をイメージしています。

見慣れた東和中学校の校章と違和感なく並べることができ、長く使っても印象が古くならない、普遍的なデザインであることを意識しました。

補作にあたっては、校旗等刺繍用の金銀2色の使用例と印刷・表示等でのカラー使用が必要になった場合のための使用例も作成していただきました。

基本は、緑の単色パターンまたはモノクロパターンになりますが、校旗の刺繍や学用品等でのカラー使用時については、次頁の使用例のほか、背景色や映え方等により配色を選択して使用します。

モノクロパターン	刺繍用 金銀2色の使用例		
			
			

カラーの使用例			
			
			
			